

Date:2017/10/19

石川高専生へ先輩職員が熱血授業!!

平成29年10月2日(月)、石川工業高等専門学校環境都市工学科3年生(44名)が利賀ダムにおける工事用道路の工事現場を訪れました。この見学会は、建設界の担い手確保・育成を目的として現場を通じて、建設界の魅力を学生に伝えるものです。

最初に学生代表の山村さんから、「学校で学んでいることがダム事業の中でどのように活かされているのか学びたい」と挨拶をいただきました。

庄川橋梁と豆谷橋梁の現場では、職員から概要説明を受けて、現在施工中の庄川橋梁と豆谷橋梁の床版を実際に歩いて見学していただきました。

座学では、同校OBの調査設計課長より「河川事業の概要」説明があり、その後「ダム建設の流れ」・「橋梁の架設工法」・「国土交通省入省動機と仕事内容」について、それぞれ担当職員が講義を行いました。

ダムサイトが見える展望台では、ダムの説明を含む完成後のダムや貯水池のイメージの説明を受け事業の規模の大きさに学生たちは驚いており、「貯水量はどのくらいなのか」「急峻な場所での作業は大変そう」等の多くの質問と感想をいただきました。

どの現場でも多くの質問が出るなど積極的に見学会に参加していただきました。今後の就職活動の参考になれば幸いです。



生徒代表者の挨拶



記念撮影 (庄川橋梁のアーチ部材前にて)



座学の様子



歩行体験
(豆谷橋梁)